

花と木の実践養成教室

令和7年1月28日（火）

バラの冬管理について

バラは、枝を更新することで元気な花を咲かせることができます。

枝をそのままにしておくと、上手く育たなくないます。つまり、バラは枝を更新していくことで、株自体を活性化し毎年よい花を咲かせます。

バラを栽培するためには、この作業（剪定）がとても重要となってきます。

ハイブリッドティ (HT)

四季咲きの大輪種で、品種も多く、花形や色も香りも豊富にあります。

フロリバンダ (F)

四季咲きの房咲き中輪種で、一枝に数多くの花を咲かせます。

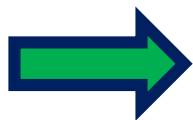
剪定 (1月中旬～2月上旬)

枯れ枝や細い枝を元から取り除き、昨年花を咲かせた枝やシュートを切ります。剪定する高さは、系統によって異なりますが、(HT)は剪定前の樹高の1/3位に、(F)は剪定前の樹高の1/2位に剪定するのが目安です。枝を切る時は、株の中心から外側にある(外芽)の5mm上で切ります。

ハイブリッドティ



剪定前



剪定後



フロリバンダ



剪定前



剪定後



今回は、ボランティアグループ(カトレア)の皆さんが、活動されているバラ花壇で剪定を行います。



**鉛筆より細い枝や枯れた枝は、枝元で切り取ります。
残す枝の数は、5~7本くらいが理想的です。**



堆肥と肥料を
入れる穴を開けます！



施肥は、1月～2月上旬までに行います。今回は株から30cm位離れた所に深さ20cm位の穴を掘り、1つの穴にバーク堆肥3ℓ・油粕300g・骨球100g・硫酸カリ10gを配合して与えます。





穴に堆肥と肥料を入れて掘った
土を半分戻して混ぜます。

混ぜ終われば、残いの土を
全部戻して土をならします。

**最後に雑草対策・
乾燥防止保湿効果・
病気対策の為バーク
堆肥でマルチングし
ます。**



**剪定と施肥が終わりました。
春の開花が楽しみです！
みなさん
ありがとうございました。**